

太宰府中学校3学年だより

No.7

R4. 6.20

文責：3年学年主任

中間考査を終えて

～1問への「執着」は、数ヶ月後の入試に大きな蓄えとなって還ってきます～

先週、前期中間考査が終わりました。早速5教科とも返ってきて、悲喜こもごもの2日間を過ごしたと思います。

採点を終えて職員室で休憩していたとき、国語科の先生が、皆さんの答案をご覧になって、次のようなことを話してくださいました。

先生、3年生は、自分が試験前に伝えたことをよく聞いていました。

皆、漢字がきちんと書いていました。

いつも自分は、試験前に漢字の出題範囲を予告していますが、今までの生徒は予告していたにもかかわらずほとんどやっていなくてできていませんでした。

だけど、彼らは、きちんと勉強してきました。

漢字の配点は1点だけど、どんな問題でも丁寧に、精一杯解こうとする姿に感心しました。



この話を聞いたとき、私も、皆さんの心がけのすばらしさに大変感心しました。

配点によって、ややもすると軽く見られがちな問題にもきちんと勉強していることは、大変すばらしいことだと思います。その「1点にける執着さ」は、やがてくる入試に大きくかかわることにもつながるからです。

国語だけでなく、今回、理科や社会などの他の教科も平均点がとても高かったです。理科に関しては、決して簡単な問題を出題してはいません。試験範囲も広く(3年生+2年生の範囲)、作図問題や計算問題とバラエティに富んだ問題を出していました。それでも、良い成果を収めたのは、全体的に「試験に対する執着」が、高くなっているからだと思います。

また、皆さんが苦手としている数学の試験でも、たくさんの人が、最後まで鉛筆を離さずに食い入るように問題にあたっていました。

主幹教諭も、数学が少しでも得意になるように「毎日15分解く」ノートを提出する取り組みをされています。「毎日15分ノート」の提出は続いていますか。

日頃の授業でも、3年生になって質問する回数と質が変わってきたように感じます。

今までは「どうしたら点数が上がりますか」といった、途中の努力はスルーして結果だけに注視していましたが、最近は「どうして、この答えになるのですか」「なぜ〇〇は△△なんですか」「この答え方でも〇ですか」「この図とこの図の違いは何ですか」といった、疑問と解決にこだわる内容に変ってきたように思います。皆、成長しているなど先生たちも感心しています。

今回の試験で良い成果を得られた人も、思うようにいかなかった人も、共通して伝えたいことは「学びは継続と執着」だということです。

「こだわり・つづける」ことが、国語科の先生がおっしゃった「学力の貯金」額をあげることに繋がると思います。

進路学習会が行われました

～入試までの時間は思ったより短いので、計画的に準備しましょう。～

17日に第2回進路学習会が行われました。感染状況がまだ厳しいため、時間を制限しての実施となりました。ご多用な中にも多くの保護者の方へ出席をいただき、誠にありがとうございました。



まず、主幹教諭から入試までの時間についてお話がありました。

入試は2月ですが、受験校を決めるのは12月、その指針となる学力テストは10月と11月であることから、入試まで意外と時間が短いこと、そして、皆さんが不得手としている「数学」を得意教科にするために、毎日15分問題を解く習慣を継続していくようにという熱いお話しがありました。

数学は、入試科目の中で最も点数差が大きい科目です。ということは、合否に最も関わる教科だともいえます。もちろん、他の教科も同じくらい大切ですが、それぞれの教科の特性を理解して、注力することが大切だと思います。

次に、生徒代表による「上級学校調べ」の発表がありました。どの人も、さまざまな資料を活用して、プレゼンテーションの機能を上手に使いながらわかりやすく紹介していました。保護者の方々も、皆さんの真剣な姿を見て、非常に感心していらっしゃいました。

最後に、進路担当の先生から、これからの進路についてお話がありました。長年、教職について多くの卒業生を出した先生だからこそ、大切なことをたくさん伝えてくださいました。

- ・進路決定には意外と時間が短いです。先を見据えて計画的に取り組みましょう。
- ・入試問題は3年間で学んだことがでるので、1・2年の内容も取り組んでいきましょう。
- ・オープンスクールは幅広く参加しましょう。志願校がきまっている人こそ、あえて他の学校を見に行くことで、より志願校への目標が深まることがあります。
- ・私立、公立ともそれぞれの良さがあります。高校がめざすものや学科、学費などの特長をよく調べて、自分が3年間過ごせる高校を選びましょう。
- ・進路の悩みは、小さな事でも相談してほしい。そして、おうちの人と進んで話し合しましょう。

進路の選択、決定は「自分事」です。今回、たくさんの書類の提出があります。おうちの方に「書いといて」とひと任せにせず、内容をきちんと伝えて準備し、期限を守って提出しましょう。

*この場をお借りしまして～お礼のご挨拶～

ご存じの保護者の方もいらっしゃるかと存じますが、小職、4月上旬に不注意から骨折いたしました。体育祭あたりまで松葉杖での職務にあたっておりました。

授業中をはじめとする学校生活において、生徒の皆さんにも大変ご迷惑をおかけしました。このたび、ようやく完治しまして、普段通りの生活を送れるようになりました。

不自由な生活の中で、たくさんの子供たちが支えてくれたことが本当にありがたかったです。松葉杖を持ってくれた生徒、椅子を動かしてくれた生徒、「大丈夫ですか」と声をかけてくれた生徒・・・たくさんの温かさのおかげで、早く治すことができました。

この場をお借りしまして、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

